



平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

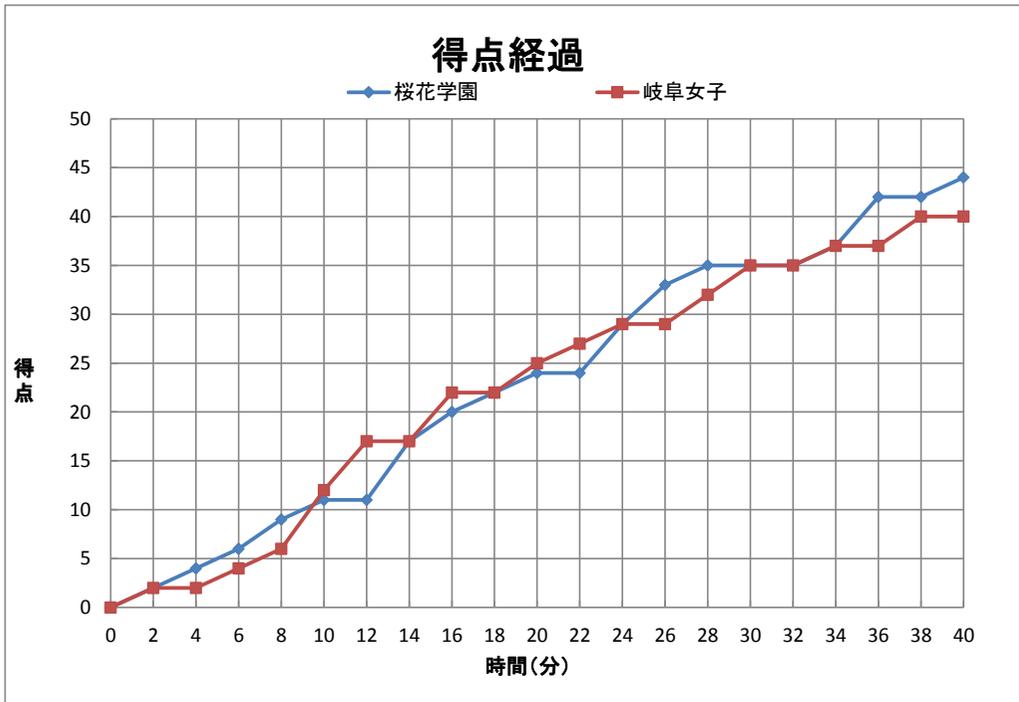
試合日	2015年8月3日
開始時間	10:00
会場	ハンナリーズアリーナ
コート	M
試合順	1

Team A	11 - 12	Team B	
	13 - 13		
桜花学園	44	40	岐阜女子
(愛知県)	9 - 5		(岐阜県)
	-		

Team A 桜花学園																		
No.	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	*	遠藤 桐	13	2	5	3	10	1	1	0	0	3	3	2	2	1	0	40:00
5	*	矢田 真悠	6	0	1	3	5	0	1	2	0	5	5	2	1	1	0	40:00
6		内山 未悠	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
7		藤本 愛妃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
8	*	馬瓜 ステファニー	16	0	0	7	14	2	2	1	1	7	8	5	0	4	1	40:00
9		川口 友香	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	*	粟津 雪乃	7	1	1	2	12	0	0	1	3	5	8	1	1	0	0	40:00
11		平野 実月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12		赤木 里帆	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	2	1	0	0	5:13
13		佐古 瑠美	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14		梅沢 樹奈	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	*	山本 麻衣	2	0	4	1	3	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	34:47
Team / Coach:		井上 眞一	/	/	/	/	/	/	/	0	1	5	6	2	/	/	/	/
合計			44	3	11	16	46	3	4	5	6	26	32	14	6	7	1	200
RATE				27.3%		34.8%		75.0%										

Team B 岐阜女子																		
No.	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	*	村瀬 久美	15	3	6	3	13	0	0	1	1	3	4	2	1	4	0	39:50
5	*	伊藤 里奈	16	4	11	2	6	0	0	0	0	1	1	4	0	0	0	36:46
6		田中 陽子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
7	*	ディヤイ ファター	2	0	0	1	6	0	0	1	4	14	18	2	1	0	0	39:03
8		バイ クンバ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0:57
9	*	藤田 歩	2	0	5	1	4	0	0	2	0	0	0	4	5	2	0	40:00
10	*	大橋 瑠菜	2	0	3	1	3	0	0	5	1	3	4	3	1	1	0	26:44
11		大橋 璃菜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0:10
12		渡邊 晴名	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13		宇治 みゆい	3	1	3	0	1	0	0	1	1	0	1	0	2	1	0	16:30
14		石井 香帆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15		玉置 愛理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
Team / Coach:		安江満夫	/	/	/	/	/	/	/	0	1	7	8	2	/	/	/	/
合計			40	8	28	8	33	0	0	10	8	28	36	18	10	8	0	200
RATE				28.6%		24.2%												

主審	前田 喜庸	副審	岩木 太郎	片寄 達
----	-------	----	-------	------



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	24:36 38:10 39:41	:	:	:	:
TeamB	13:57	25:24 35:09	:	:	:	:

タイムアウトは経過時間で表示しています

戦評

2015年インターハイ女子決勝は、東海大会決勝と同じカードとなった。両チームハーフコートマンツーマンでスタート。開始1分、ファーストショットは岐阜女子#10のドライブイン。桜花学園は#8が返す。互いに相手の厳しいディフェンスからミスが続く。ボールマンピックを中心にオフェンスを組み立てる桜花学園に対し、プレアスクリーンで崩しにかかる岐阜女子。桜花学園の連続ポイントで5点差となるが、岐阜女子#5#4の3Pで一気に逆転11対12で終了。第2P、開始早々に岐阜女子#5の3Pでさらに流れを引き寄せる。2分半の間、得点が止まっていた桜花学園だが、#5のドライブで得点すると3連続得点で17対17に。しかし、岐阜女子の3Pが止められない。桜花学園は#8のスティールやドライブインでなんとかくらいつく。結局24対25で岐阜女子の1点リードで前半終了。第3P、岐阜女子は#9#4の得点でリードを広げる。一方攻め倦む時間が続いた桜花学園であったが、そのムードを一変したのは#4のカウントワンショット。同点として桜花学園がタイムアウトを請求。すると形勢は逆転し、今度は岐阜女子の得点が止まってしまう。一時は桜花学園に6点リードを許すが、またしても#4#13の3Pで追いつき35対35となる。勝負の第4P、互いに気迫のディフェンスで一歩も譲らない。ムードを変えたのは桜花学園#5のカウントワンショット。そうはさせまいと岐阜女子は後半2回目のタイムアウトを請求。岐阜女子#5がノーマークの3Pを決めて2点差となると場内の緊張感にはさらに高まる。そんな中、果敢に攻めた桜花学園#8のジャンプシュートで4点差となると、守りきった桜花学園が4対40で4年連続21回目の優勝を果たした。桜花学園は、接戦の中でも冷静な試合運びで、絶対的女王の存在感を示した。敗れはしたものの、岐阜女子のスクリーンプレイは間違いなく大会ナンバーワンであった。会場中の心を最後まで惹きつけた放さなかった両者の戦いに心から拍手を送りたい。

戦評	富山 唯	記録	鳥羽高校
----	------	----	------